

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
単元株式数 100株  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
          期末配当 毎年3月31日  
          中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先） 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）（住所変更等用紙のご請求） ☎0120-175-417  
（その他のご照会） ☎0120-176-417

（インターネットホームページURL） <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。

URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、  
日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所

### お知らせ

#### 【株券電子化後の株式に関するお届出先及びご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたします。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

#### 【株券電子化前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて】

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日（平成21年1月5日）から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は、平成21年1月26日以降となります。

※単元未満株式について「ほふり」を利用されている株主様につきましては、上記取扱と異なりますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

[マースジャーナル]

## 第35期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



# MARS Journal



株式会社 マースエンジニアリング

〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7

TEL. 03-3352-8555 (代)

URL : <http://www.mars-eng.co.jp>



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています

株式会社 マースエンジニアリング

## パーソナルPCシステムの市場シェア拡大で ブランド力の向上を図ります。



代表取締役社長 松波 明宏

株主の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当社の事業活動につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期において、パチンコ業界は、遊技ファン離れや金融機関の融資の引き締め、更には従業員の採用難に至るまで、パチンコホールの経営環境は依然として厳しく、当業界は転換期を迎えております。

そうした中で当社は、玉積み・玉運び業務の要らないパーソナルPCシステムを販売し、少人数で効率の良いホール運営の実現と営業利益の改善を提案してまいりました。

2月からは簡単な島工事で短期間、低価格での導入が可能となったパーソナルPCシステムⅡも本格的に販売開始し、パーソナルPCシステムの市場シェアは急拡大いたしました。また、8月から9月に掛けて、大阪を皮切りに全国8箇所で開催の展示会を実施し、10月に発売予定のパーソナルPCシステムⅢを発表いたしました。展示会場には当社のお客様を始め、他社ユーザーのお客様にもご来場いただき、パーソナルPCシステムの業界標準化に向け、確かな手応えを感じることができました。

販売実績200店舗も目前に迫り、下期は3種類のパーソナルPCシステムで市場シェアの拡大とブランド力の向上に努めてまいります。

次の事業の柱として成長を見込むRFID事業については、異業種への販売を模索し、今期、医療分野へ初実績をあげることができました。また、昨年に業務・資本提携した昭和情報機器株式会社と自動認識総合展に共同出展し、今後の相乗効果に期待しております。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 当中間期の業績

当第2四半期連結累計期間(中間期)における我が国経済は、米国に端を発したサブプライムローン問題による金融市場の混乱や急激な円高による景気後退懸念に加え、原油や原材料価格の高騰による物価上昇など、景気の減速感が一層強まりました。

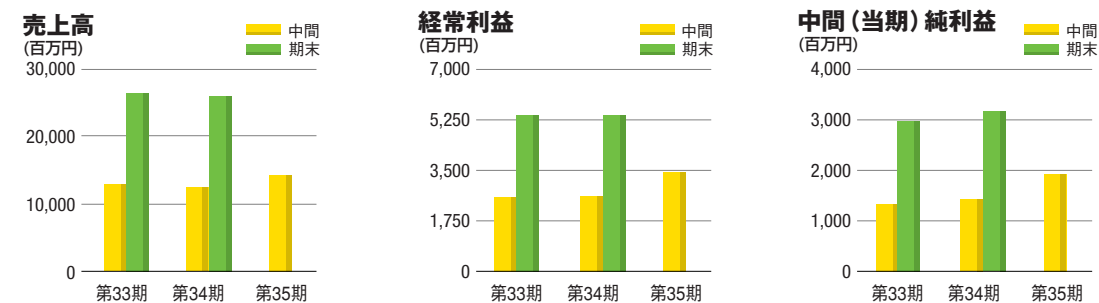
当社グループの主要販売先であるパチンコ業界においては、昨年大型パチンコホールが破綻したことを受けて、金融機関からの融資が引き締められ、困窮するパチンコホールの経営は更に厳しく、パチンコホールの軒数は倒産や廃業により減少いたしました。その一方で、新規の遊技ファンやオールドファンを獲得するための新しい試みとして、少額で遊技ができる低貸玉営業を実施し、従来の売上重視の経営から利益重視の経営へと方向転換することで、利益の改善を図るパチンコホールも見受けられるようになりました。

また、7月の北海道洞爺湖サミット開催に伴い、都道府県毎に最低30日間の遊技機の入替を自粛した影響について、懸念しておりましたが、周辺設備の更新需要に与える影響は、ほとんどなく推移いたしました。

このような状況の下で、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスに至るまで一貫体制でコストの削減を図ると同時に、直販体制で顧客のニーズを直接受け入れ、競合他社とは異なる独自の製品開発に努めてまいりました。また、玉積み・玉運び業務をなくし、少数精鋭でパチンコホールの運営が可能になるパーソナルPCシステムを中心に、景品管理システムやホールコンピュータなど、トータルシステムでの販売に注力いたしました。

この結果、当中間期の売上高は142億70百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益33億54百万円(同30.2%増)、経常利益34億86百万円(同32.7%増)、中間純利益19億27百万円(同34.5%増)となりました。

事業別の状況は次のとおりです。



[アミューズメント関連事業部門]  
(プリペイドカードシステム)

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、パーソナルPCシステムを主として販売に注力いたしました。新型のプリペイドカードシステムに計数機を遊技機毎に備え付けたパーソナルPCシステムは、パチンコホール内の玉運びや玉積み業務をなくし、少人数で効率的にホール運営ができ、利益の改善を図ることができるシステムとして提案販売してまいりました。更に簡単な工事で設置が容易となったパーソナルPCシステムⅡを新たに発売開始し、ラインナップの拡充を図ってまいりました。

その結果、利益の改善を図り、利益重視の経営を提案してきた当社のコンセプトと顧客のニーズが合致してきたことや、大手パチンコチェーンホールを中心に導入が進んだことから、パーソナルPCシステムの導入店舗は増加し、パーソナルPCシステムの売上実績99店舗を含めたサイクルカードシステムの売上実績は132店舗、導入(実稼動)店舗数は、当中間期末時点で累計1,867店舗(市場シェア18.2%)となり、当システムの個別売上高は63億54百万円となりました。

(景品管理システム)

景品管理システムは、サイクルカードシステムと連動して

使用される傾向にあります。当社ユーザーへの導入が多かったことから、当システムの個別売上高は14億67百万円となりました。

(RFID)

セキュリティを強化した入退出管理システムやアミューズメント施設向けの認証システムなど、業種を問わずRFIDの技術を応用したシステムを開発し、積極的に展示会に出展してまいりました。

その結果、健診センター向けシステムを販売し、医療業界において初の実績を上げるなど、RFIDの個別売上高は4億57百万円となりました。

その他品目の売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は139億68百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

[その他事業部門]

その他事業部門におきましては、ホテル事業を行っており、立地の良さやサービスに対する評価が高く、多くのリピーターに利用された結果、その他事業部門の個別売上高は3億2百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

● New Products of  
**MARS** [MARSの新製品]

パーソナルシステムに新ラインナップ誕生！  
**PERSONAL Ⅲ**

島工事不要の最新パーソナルPCシステム

入金、遊技、計数のすべてが座ったまま行える画期的なシステム「パーソナルPCシステム」が全国各地のホールに次々と導入される中、当社ではお客様のニーズにきめ細かくお応えすべく研究開発を進め、このたび、パーソナルPCシステムの新ラインナップに「PERSONAL Ⅲ(以下、パーソナルⅢ)」が登場しました。

パーソナルⅢは、パーソナルⅡで好評だった、①大規模な島工事が不要、②短期間での導入が可能の2つの利点をそのままに、玉箱に約1,200個の玉を貯めることが可能となり、出玉感を存分に味わうことができます。専用レバーを引けば、好きなときにいつでも計数を開始(又は停止)することができ、新たに搭載した独自のスクリュ機構により、高速計数を実現しました。

当社の提案する玉積みをしらない遊技スタイルが業界の新しい標準となるべく、パーソナルPCシステムの販売に注力してまいります。

パーソナルⅢは、いよいよ第3四半期からデビューです。



K1-PS(Ⅲ)



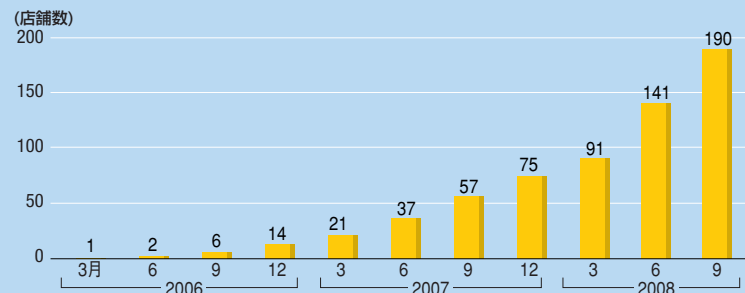
約1,200個の玉が貯められる玉箱はレバーを引けばいつでも計数可能です。



独自のスクリュ機構で玉を自動誘導・高速計数します。

● パーソナルPCシステムの  
売上店舗数(累計)

「パーソナルPCシステム」を導入すると、玉箱を運搬する必要がなくなるため、スタッフはお客様へのサービスに専念でき、また、ホールにとっては、最小限のスタッフでホール運営が可能となるほか、玉箱が通路から消えることにより緊急時の安全性確保も実現できます。ホール経営の合理化とお客様へのサービスの向上を実現する「パーソナルPCシステム」は全国に拡大中です。



パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

[群馬県前橋市]  
ダイナム群馬大胡店様

全国で業界最多の299店舗のパチンコホールを運営する(株)ダイナム様。同社が提案する「ダイナムゆったり館」では、もっと気軽に手軽に楽しんでもらいたいと全館貸玉1円、貸メダル5円の低貸玉営業を実施。その中の1店である大胡店様では約900種の品揃えで充実の景品コーナーをはじめ、休憩コーナーや禁煙コーナーを設置し、お客様がゆったりゆっくりできる空間とやさしいパチンコを提供しています。

パーソナルPCシステムは、「楽々ぱちんこシステム」の愛称で同社とお客様に親しまれています。



ダイナム群馬大胡店様のコメント

当店のアルバイトは全員女性です。玉積み・玉運びサービスなどの重労働から解放されたため、従来よりも女性が働きやすく活躍できる職場に変化したように思います。また、カード1枚で「遊技」「台移動」、そして「景品交換」までが可能となったため、お客様からも遊びやすいと好評です。パーソナルシステムは、従業員の労働負担軽減とお客様の利便性の向上を実現できる設備です。

※ダイナム様は36店舗にパーソナルPCシステムを導入していただきました。(9月末現在)

[宮城県仙台市]  
ライジング新田様

北海道・東北地区を中心に展開する業界大手の(株)カネマツ様。創業以来変わらない「奉仕の精神」を基盤に、地域で一番愛され、お客様の日常に喜びと満足を提供していくことを使命としています。

このコンセプトの下に新田様では、快適な遊技空間の他、レストルームにマッサージチェアやCDの試聴ができるコーナーを完備。お客様に愛され、選ばれる空間づくりに今回初めてパーソナルPCシステムを採用していただきました。



ライジング新田様のコメント

パーソナルPCシステムの導入で、お客様の大切な時間を楽しく過ごしていただくための新たな「場」が生まれました。空間づくりはもちろん、今後接客マナーやサービス、イベントなども含めさらなる環境づくりに努めてまいります。

TOPICS 1 「新製品発表展示会」を全国8箇所で開催

マースエンジニアリングの新製品の発表展示会が、今年8月26日より全国8箇所にて開催されました。

パーソナルPCシステムの新しいラインナップ「PERSONAL Ⅲ」のほか、参考出品として出展した「ハンディターミナル」、そして順調に稼働店舗数を伸ばしている「Air紙幣搬送システム」のデモンストレーションに熱い注目が集まりました。



8月26日 大阪



8月28日 福岡



9月3日・4日 東京



9月9日 名古屋



9月11日 沖縄



9月16日 広島



9月17日 仙台



9月18日 高松

TOPICS 2 マーステクノサイエンス  
「第10回自動認識総合展」へ出展

グループ会社で先端技術に携わる業務を行う株式会社マーステクノサイエンスが、資本提携先である昭和情報機器株式会社と共同で、2008年9月10日から3日間開催された「第10回自動認識総合展」へ出展いたしました。

今回は「かざす、触れる」から「つながるRFIDソリューション」をテーマに、タッチパネルとリーダライタの一体型マルチデータエントリー端末「MTR-200」及び、タッチパネル、リーダライタ、プリンタの一体型多機能端末「MTR-120P」を中心に展示し、ブースにはたくさんのお客様のご来場をいただくことができました。



# Consolidated Financial Statements [中間連結財務諸表]

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間末 平成20年 9月30日現在	前中間連結 会計期間末 平成19年 9月30日現在	前連結 会計年度末 平成20年 3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	29,892,202	28,762,659	27,407,609
固定資産	15,223,543	15,606,110	15,207,920
有形固定資産	9,665,314	9,891,958	9,773,057
無形固定資産	125,466	122,974	108,382
投資その他の資産	5,432,763	5,591,176	5,326,480
<b>資産合計</b>	<b>45,115,746</b>	<b>44,368,769</b>	<b>42,615,530</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	9,153,683	7,916,157	8,112,100
固定負債	2,640,855	2,640,839	2,645,002
<b>負債合計</b>	<b>11,794,539</b>	<b>10,556,997</b>	<b>10,757,102</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	33,511,143	33,552,130	32,044,699
評価・換算差額等	△481,097	△13,011	△466,805
少数株主持分	291,161	272,653	280,534
<b>純資産合計</b>	<b>33,321,207</b>	<b>33,811,772</b>	<b>31,858,427</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>45,115,746</b>	<b>44,368,769</b>	<b>42,615,530</b>

## 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	14,270,688	12,564,251	26,016,688
売上原価	7,272,739	6,510,007	13,689,804
売上総利益	6,997,948	6,054,244	12,326,884
販売費及び一般管理費	3,643,427	3,477,231	7,137,979
<b>営業利益</b>	<b>3,354,521</b>	<b>2,577,013</b>	<b>5,188,904</b>
営業外収益	135,922	52,951	204,695
営業外費用	4,256	2,200	12,014
<b>経常利益</b>	<b>3,486,186</b>	<b>2,627,765</b>	<b>5,381,586</b>
特別利益	30,191	—	127,533
特別損失	303,697	104,459	110,861
税金等調整前中間(当期)純利益	3,212,680	2,523,305	5,398,257
法人税、住民税及び事業税	1,411,907	1,071,337	2,104,721
法人税等調整額	△141,340	47,134	148,010
少数株主損益	14,293	△28,395	△18,523
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>1,927,819</b>	<b>1,433,228</b>	<b>3,164,048</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,509,180	2,801,090	3,842,225
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,952,258	△2,609,167	△1,645,289
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△558,098	△509,895	△3,847,068
IV 現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	3,903,340	△317,972	△1,650,132
V 現金及び現金同等物の 期首残高	10,024,171	11,674,303	11,674,303
VI 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	13,927,511	11,356,330	10,024,171

# Non-consolidated Financial Statements [中間単体財務諸表]

## 中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 平成20年 9月30日現在	前中間期 平成19年 9月30日現在	前事業年度末 平成20年 3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	17,090,612	17,715,327	14,847,073
固定資産	14,641,363	15,079,845	14,681,077
有形固定資産	4,157,415	4,373,760	4,264,985
無形固定資産	71,549	119,689	91,823
投資その他の資産	10,412,397	10,586,395	10,324,269
<b>資産合計</b>	<b>31,731,976</b>	<b>32,795,173</b>	<b>29,528,150</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	3,497,346	3,252,446	2,877,275
固定負債	793,909	755,503	777,733
<b>負債合計</b>	<b>4,291,255</b>	<b>4,007,949</b>	<b>3,655,008</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	27,810,236	28,794,339	26,229,047
評価・換算差額等	△369,515	△7,116	△355,904
<b>純資産合計</b>	<b>27,440,720</b>	<b>28,787,223</b>	<b>25,873,142</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>31,731,976</b>	<b>32,795,173</b>	<b>29,528,150</b>

## 中間単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	10,466,140	9,091,719	18,655,409
売上原価	5,611,301	4,972,185	10,350,442
売上総利益	4,854,839	4,119,534	8,304,966
販売費及び一般管理費	3,135,998	3,114,669	6,301,810
<b>営業利益</b>	<b>1,718,840</b>	<b>1,004,865</b>	<b>2,003,155</b>
営業外収益	1,237,037	1,050,051	1,111,626
営業外費用	3,100	790	10,470
<b>経常利益</b>	<b>2,952,778</b>	<b>2,054,127</b>	<b>3,104,311</b>
特別利益	39,885	9,206	132,746
特別損失	303,559	2,419	7,872
税引前中間(当期)純利益	2,689,104	2,060,913	3,229,185
法人税、住民税及び事業税	740,536	470,753	837,195
法人税等調整額	△93,997	△14,205	114,664
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>2,042,564</b>	<b>1,604,365</b>	<b>2,277,325</b>

株式の状況

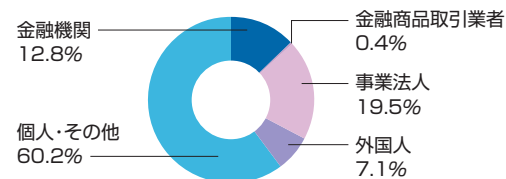
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	5,869名

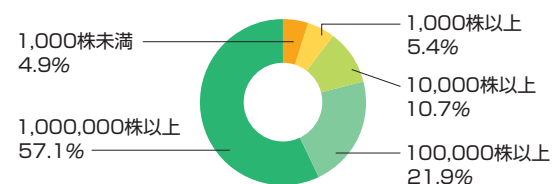
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,251	23.06
松波廣和	1,404	7.62
松波香代子	1,028	5.58
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,005	5.45
松波明宏	1,000	5.42
みずほ信託 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	600	3.25
古宮重雄	490	2.66
五味輝雄	450	2.44
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	433	2.35
永井美香	432	2.34

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	479名(男437名、女42名)

役員

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役副社長	五味輝雄
取締役相談役	松波廣和
取締役	大矢俊寿
取締役	村上浩
常勤監査役	佐藤忠義
監査役	竹俣耕一
監査役	小林郁夫

執行役員

営業本部長兼近畿営業部長	秋山裕和
管理本部長兼経理部長	佐藤敏昭
ラインテック営業部長	杉内雄二
R&Dセンター長兼特許管理室長	佐野邦明
技術開発部長	井出平三郎
製造部長	渡邊廣美
品質保証部長	名取満郎



新風を業界に次々と。

パチンコ業界に革新をもたらす技術で大躍進！

マースがパチンコ業界へすべての経営資源を投入するきっかけとなった要因の1つは、1986年に磁気カードによるプリペイドカードが導入されたことでした。

業界の動向を睨んで密かに開発を進めていた矢先、日本信号(株)のVISMACカードに出会いました。実用化にこぎつけるため業務提携を行って台間玉貨機向けに「リーダー」のユニット開発を進めます。これにより、従来の紙テープリーダーに代わって、遊技客が取得した玉数を表示できる業界唯一の磁気カード「見えるカード」をメディアとするカード式景品管理POS「CX-8OCR」を誕生させました。

この「見えるカード」による磁気カードが急速に業界に普及していき、全国のホールに導入が進んでいきます。ところが警察庁保安課から「玉数を表示したカードは誰が許可したのか？」と詰問され、警視庁へ出向く事態に発展しました。折りしも業界で



紙テープに代わり、カードによる景品交換の時代がスタート。オリジナルデザインによるカードが人気を呼びました。

は、警察庁が全国プリペイドカード構想を発表し大騒ぎになっていた時期でした。

マースでは、専門官へ玉数表示カードは有価証券にあたらぬことを説明して誓約書を提出する一方、ノズル付の新型台間玉貨機(サンド)を開発して遊技台ごとに設置することを警察庁の専門官から販売承認を取り付けました。この結果、遊技客にとっては1台ごとにサンドが設置されて利便性が上がるうえ、ホールにとっても売上げが見込めるということで、業界のお墨付きをいただいた玉貨機は業界標準仕様となりました。

将来への大きな発展に向け、マースは1988年に本社を移転し、そして新たな製品生産拠点の取得を目指すこととなります。また、従業員の意思疎通を大事にするため、翌年1月には社内報「らっしゅ」を創刊しました。